

平成27年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成28年 1月	2月	3月
4/14(火)~5/12(火)	5/13(水)~6/7(日)	6/9(火)~7/5(日)	7/7(火)~8/4(火)	8/5(水)~9/6(日)	9/8(火)~10/6(火)	10/7(水)~11/8(日)	11/10(火)~12/13(日)	1/5(火)~2/9(火)	2/10(水)~3/15(火)	3/16(水)	
重文 西行物語絵巻 重文 刀名物 南泉一文字	重文 歌舞伎図巻	重美 宮本武蔵筆 蘆葉達磨図 刀 銘 村正	重文 豊国祭礼図屏風	重文 重之集	重文 相応寺屏風	重文 葉月物語絵巻 徳川宗春着用 火事装束	琉球楽器 1/5(火)~2/26(金) 青磁香炉 銘 千鳥	2/27(土)~3/6(日) 特別公開 千利休 泪の茶杓			

名品
コレクション
展示室

4/11(土)~5/31(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念春季特別展
全点一挙公開 国宝 初音の調度
—日本一の嫁入り道具—

三代将軍家光の長女で、尾張徳川家二代光友にお嫁入りした千代姫の婚礼調度(初音の調度)は、日本一豪華な嫁入り道具で、総計70件が国宝に指定されています。開館80周年を記念し、全点を一挙に公開いたします。



国宝 初音の調度

6/13(土)~7/26(日)

企画展示
対極の美 白と黒がおりなす世界

白と黒は、すべての色彩の極限にある色です。対極をなす一方で、その濃淡により無限の階調が生み出され、最も単純でありながら、二つの色が織りなす世界は実に美しく豊かです。白と黒、拮抗し互いに響き合う美の世界と色の秘密を、絵画や陶磁・漆工・金工など多彩な切り口で探ります。



重要文化財
織部高茶碗 銘 冬結

8/1(土)~9/13(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念夏季特別展
没後400年
徳川家康 一天下人の遺産

徳川家康の遺産は、江戸時代を通じて尾張徳川家第一の什宝として大切に守り伝えられました。刀剣・武器・茶の湯道具・衣類・書籍など、多岐にわたる遺産は戦国武将の中でも群を抜く質・量を誇っています。徳川家康没後400年を記念し、尾張徳川家に伝えた家康の遺産「駿府御分物」「駿河御讓本」を通して、家康の生涯をたどりま。



徳川家康画像(東照大権現像)

9/19(土)~11/8(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念秋季特別展
茶の湯の名品
—利休・織部・有楽 至高の大名コレクション—

徳川美術館には、室町将軍家の宝物で、桃山時代以降、唐物の粋として賞賛され続けた「東山御物」や、茶の湯の偉人たちに愛蔵され、「大名物」「名物」の称号を与えられた道具が数多く伝わりま。さらに、岡谷家ほか名古屋の旧家からの寄贈を受け、充実した茶道具のコレクションとなっています。徳川美術館が誇る茶道具の名品を一挙に公開します。



漢作茄子茶入 銘 西屋 大名物

11/14(土)~12/6(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展
全点一挙公開
国宝 源氏物語絵巻

国宝「源氏物語絵巻」は、12世紀前半に当時の宮廷で製作・享受されたと考えられ、「源氏物語」を絵画化した現存最古の遺例です。開館80周年を記念し、全場面公開いたします。




国宝 源氏物語絵巻 柏木三(部分)

1/5(火)~1/31(日)

企画展示
知られざる 徳川美術館 コレクション
—珍品・奇品・謎品!?

徳川美術館では、最近になっても収蔵庫内で新たに存在が確認される作品や、よく知られているにもかかわらず展示の機会が少ない作品が数多くあります。徳川美術館が収蔵する珍品や初公開の作品などを紹介します。



化石風扇

2/11(木)~4/10(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展
尾張徳川家の雛まつり

徳川美術館には、尾張徳川家の姫君のためにあつらえられた雛人形や雛道具が伝来しており、いずれも御三家筆頭の名にふさわしい質の高さを誇っています。また、所狭しとお人形や雛道具が並べられる明治・大正・昭和の雛飾りは、高さ約2メートル、幅7メートルにもおよび巨作です。大名家ならではの、豪華で気品ある雛の世界を紹介します。



内裏雛飾り

蓬左文庫
展示室1
展示室2

4/11(土)~6/7(日)

尾張の茶道と香道

尾張徳川家において、茶道や香道などの芸道は、御成をはじめとする儀礼の場で重要な役割をなしてきました。尾張徳川家そして尾張における茶道や香道の隆盛を支えた人々とそのゆかりの作品を紹介します。



鉄絵牡丹文楕円花生
古染付拍子木香合

6/10(水)~7/26(日)

異国への窓
—阿蘭陀(オランダ)・波斯(ペルシア)・印度(インド)—

江戸時代、日本は鎖国政策をとっていましたが、オランダや中国との貿易によって、直接国交の無い国々からの物資がもたらされ、大名もこれらを入りました。尾張徳川家に伝えられた諸外国の品々を中心に紹介します。



一番更紗
阿蘭陀焼白雁香合

8/1(土)~9/13(日)

殿様が愛した鳥たち

身近な生き物である鳥は、古くから多くの美術品に取り込まれてきました。鳥には神の使いや幸福を表象する「吉祥」のイメージが仮託され、また、新しい季節の訪れを告げる存在として愛でられました。花鳥画や鳥を象った陶磁器などを展覧し、鳥に込められた想いを探ります。



重要文化財 紫地薬紋付紫の葉文辻ヶ花染羽織

9/19(土)~11/8(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展
豊かな朝鮮王朝の文化

朝鮮王朝との関係修復に努めた徳川家康は、朝鮮で刊行された金属活字本をはじめ、隣国の優れた文化にも関心を寄せていました。尾張徳川家に伝わった家康旧蔵の朝鮮本や、高麗・朝鮮美術の名品、朝鮮通信使に関する記録などを通して、朝鮮王朝の豊かな文化と両国の交流を振り返ります。



内訓(朝鮮銅活字本)
朝鮮人物旗幟輿之図(部分)
重要文化財 河内本源氏物語

11/14(土)~12/13(日)

源氏物語の世界
—平安の恋物語—

「源氏物語」は平安時代以来、日本人に愛され続けた文学作品であり、数えきれないほどの多くの絵画作品が生み出されてきました。重要文化財「河内本源氏物語」をはじめ、尾張徳川家に伝来した「源氏物語」の写本や絵画作品の優品を紹介します。



重要文化財 河内本源氏物語

1/5(火)~4/10(日)

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念
コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ

平成27年、尾張徳川家19代・徳川義親氏が東京自白に蓬左文庫を開館してから80年を迎えます。江戸時代の「御文庫」、明治維新から蓬左文庫設立に至る黎明期、戦後の名古屋移転から現在まで、各時代における豊かなコレクションとその収集過程にスポットを当て、蓬左文庫の歴史とコレクションの全貌に迫ります。



蓬左文庫開館当時の徳川義親氏
鶏頭鈕銅印 印文「蓬左文庫」

徳川園

4/11(土)~30(木)
春を謳う 徳川園牡丹祭

4/26(日)
黒門クラフト市

4/20(月)
臨時開園

4/27(月)
臨時開園

6/7(日)
徳川園 山車揃え

6/9(火)~7/12(日)
雨を聴く 徳川園の和傘

7/18(土)・19(日)
そぞろ歩く 徳川園宵まつり 夜間開園

8/8(土)~16(日)
夕べを涼む 徳川園夜会 夜間開園

9/26(土)・27(日) 十五夜
月を掬う 徳川園観月会 夜間開園

10/24(土)・25(日) 十三夜

10/17(土)~11/8(日)
風を見る 徳川園の秋景

10/18(日) 11/3(火・祝)
無料開園 無料開園

11/20(金)~12/13(日)
錦を纏う 徳川園紅葉祭

11/20(金)~29(日)
ライトアップ 夜間開園

12/13(日)~1/3(日)
松を寿ぐ 徳川園のお正月

1/2(土)~2/21(日)
寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹

2/27(土)~4/3(日)
花を誘う 徳川園の梅、桃、桜

3/13(日)
徳川園起源の日 無料開園

12/28(月)~1/1(金・祝)
年末年始休園

蘇鉄の狐掛け 11月末~

郡上おどり 10月開催

名古屋市 **蓬左文庫**
 TEL (052) 935 - 2173
 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
 ホームページ <http://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍を所蔵する公開文庫です。命名には、名古屋城(蓬左城)内にあった書物を伝える文庫という意味がこめられました。「蓬左」は、江戸時代の名古屋の別称。熱田神宮が伝説の蓬左島にあたとされ、その

左方に位置したことから呼ばれました。現在、蔵書数は約11万点。名古屋の城下園から世界園におよぶ古地図や屋敷園・庭園など2千点をこえる絵図も所蔵しており、蔵書内容の豊富さが特徴となっています。蔵書は閲覧室で閲覧できます。また、展示室は徳川美術館と館内で繋がっています。



■閲覧室/入室無料 館外貸出しはいたしません。
 【閉架図書】 午前9時30分～12時、午後1時～5時
 【開架図書】 午前9時30分～午後5時
 【複写サービス】 保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。
 閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。書庫内の資料は、検索閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

徳川美術館・蓬左文庫共通
 ■開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
 ■休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日)
 平成27年12月14日(月)～平成28年1月4日(月)
観覧料 一般 1,200円 高・大生 700円 小・中生 500円
※20名以上のご団体は一般200円、その他100円割引
 ※年寄土曜日、小・中・高生入館無料

徳川園
 TEL (052) 935 - 8988
 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001
 ホームページ <http://www.tokugawaen.city.nagoya.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から渓谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える構成を用いて大名庭園の「荘厳さ」が体感できます。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

■開園時間/午前6時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)
 ■休園日/月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/1)
 ■入園料/一般・高・大生 300円
 徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般1,350円

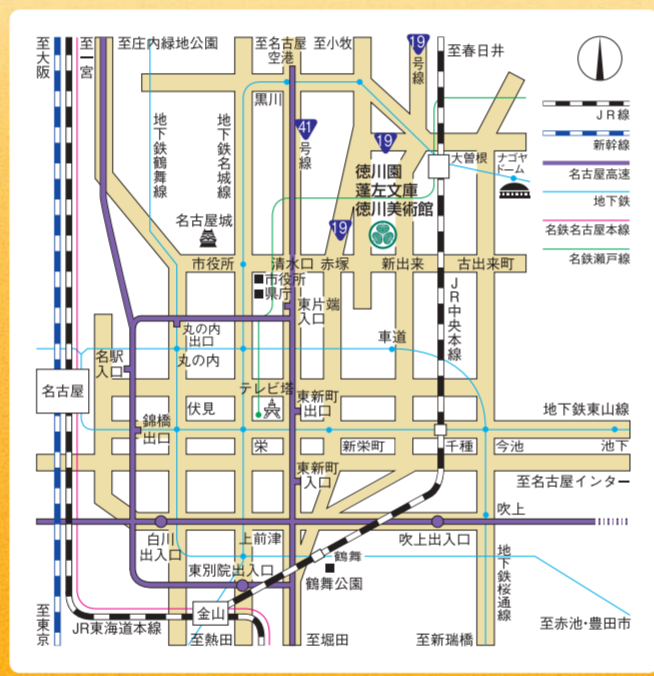
連絡先
 徳川美術館 052-935-6262
 名古屋市蓬左文庫 052-935-2173
 徳川園 052-935-8988
 ガーヴェルストラテック 徳川園 052-932-7887
 日本料理 宝善亭 052-937-0147

交通のごあんない

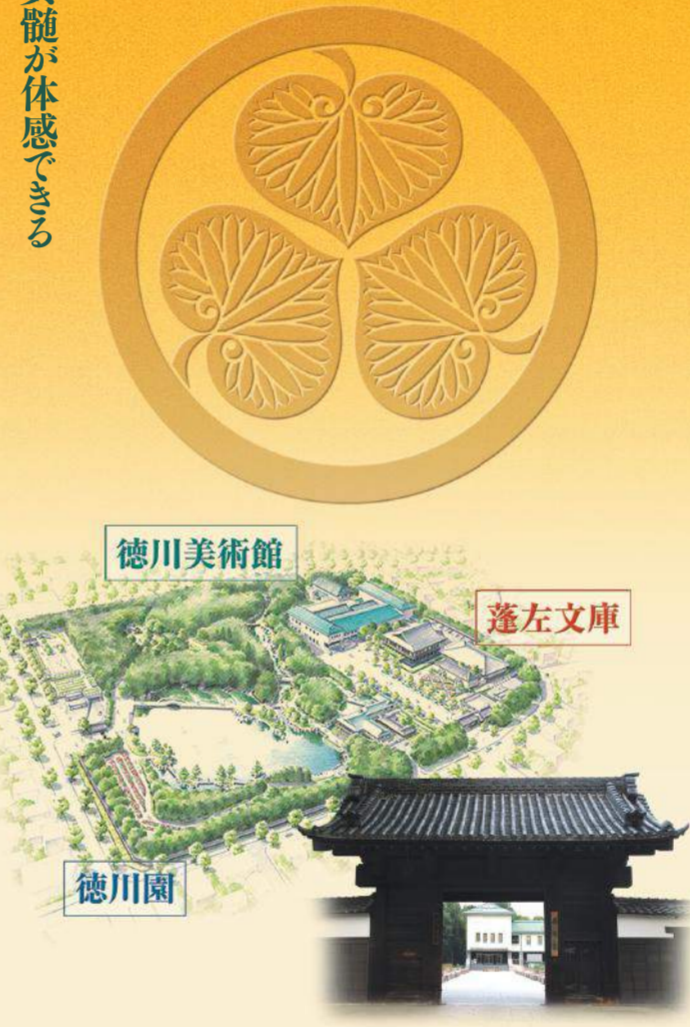
名古屋駅より
 <市バス> 名古屋駅前2番のりば 基幹2系統「光ヶ丘」「猪高車庫」方面ゆき「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分
 <名鉄バス> 名鉄バスセンター(メルサ3階)4番のりば 「三軒家」方面ゆき「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分
 <JR> JR中央本線「多治見」方面行「大曾根」駅下車 南出口から徒歩10分

なごや観光ルートバス「メーグル」
 名古屋駅前8番のりば
 名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、土・日・休日は20分～30分に1本運行

栄より
 <市バス> 栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば 基幹2系統「引山」「四軒家」方面ゆき「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約15分)徒歩約3分
 <地下鉄> 市営地下鉄名城線(右回り)「大曾根」駅下車 3番出口より徒歩15分



徳川ゆかりの地 大名文化の真髄が体感できる
徳川園
名古屋市蓬左文庫
徳川美術館
 平成27年度ご案内
 徳川美術館・蓬左文庫開館 80周年



徳川美術館
 TEL (052) 935 - 6262
 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017
 ホームページ <http://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、初代義直(家康九男)以下代々の重宝品、いわゆる「大名道具」1万件余りを収める美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、当館ならではの種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。国の有形文化財として登録されている本館では、さまざまな特別展を随時開催しています。

<名品コレクション展示室 約一ヶ月毎に展示作品を替えています。>

尾張徳川家伝来の名品を基に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張藩主の公的の生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。

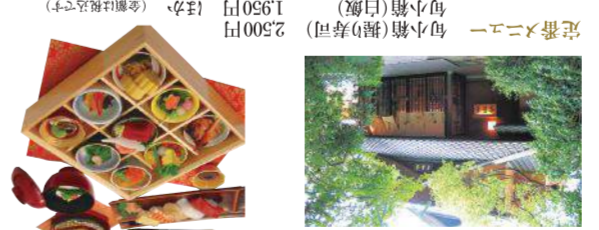


※平成26年10月7日、徳川園黒門、脇長屋、塀、釣瓶井戸、蓬左文庫旧書庫、蘇山荘、徳川美術館山の茶屋・空庵および餘芳軒・東屋が国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

「徳川園」の庭園を眺めながら、優雅に味わうフランス料理
フランス料理 徳川園
 ランチメニュー
 素材の彩り 2,600円
 至長の焼き 4,000円
 景景の美 5,300円 (金額は税込です)
 【ランチ】 午前11時～午後2時(L.O)
 【ディナー】 午後5時～午後10時(L.O)
 ご予約・お問合せ先 ☎(052)932-7887



美術館の庭園の緑を眺めながら、くつろいでご昼食をお楽しみ下さい。
日本料理 宝善亭
 定番メニュー 2,500円
 旬小箱(白飯) 1,950円
 ほか (金額は税込です)
 【お昼】 午前11時～午後3時
 【夜】 午後5時～午後9時(完全予約)
 休業日 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
 ご予約・お問合せ先 ☎(052)937-0147



徳川園オアシスの小物や季節のお菓子を取り揃えてお待ちしております。
ショップ 葵
 営業時間 午前10時～午後5時30分
 徳川園に隣する

